

2019年度 第1回幹事会 議事録

日時：2019年4月12日（金）13：00～15：00

会場：大阪科学技術センター 7階700号室

出席者：52名

幹事会開会に先立ち、茶山支部長から近畿分析技術懇話会の入会案内があった。また、大阪市立大学名誉教授である市村彰男参与のご逝去について報告があり全参加者により黙祷が捧げられた。

○支部役員について

茶山支部長からの挨拶の後、2019年度の支部役員（資料 No.1）の紹介があった。新幹事として4名の推薦があったことが報告され承認された。また、出席している新役員3名から自己紹介があった。なお、高山氏より社名変更の報告があり、名簿の所属について、後ほど訂正される予定である。

○前回幹事会議事録承認

前回議事録（資料 No.2）を確認し、修正などが必要であれば申し出るよう、茶山支部長から指示があった。異論はなく、前回議事録が承認された。

1. 本部関係報告

(1) 本部理事会報告

冒頭に、辻理事から市村彰男参与のご逝去に伴い、大阪市立大学にてお別れの会の開催される予定であることが説明された。また、資料 No.3 に基づき、2018年度第6回理事会、2019年度第1回理事会議題の審議事項などの報告があった。

- 次期副会長投票結果として、大塚副会長の後任として石濱氏が選出され、大塚氏は新たに監事に選出され承認されたことが報告された。
- 2021年 ICAS が年会や討論会と別日程で開催されることが報告された。それにより、近畿支部は2021年に第70回の年会と2024年に第84回の討論会を担当することが説明された。
- 本部役員候補者として、内山会長並びに5名の副会長が就任予定であることが説明された。
- 4月23日（火）に、第8回定時総会が開催されること、代議員に資料が配布されていることが報告された。
- 本部会計についての説明があった。貸借対照表について、前払金に標準物質の準備金が計上されており、また、退職金の準備として流動資産から特定資産への積み増し

れていることが説明された。また、会費収入や広告料などの減少状況について報告があった。なお、人件費について削減が達成されていない点について質問があり、辻理事より「ぶんせき」誌の業務変更の説明とともに、雇用見直し等の監視が必要であると回答があった。さらに、財務に関する責任者の必要性について意見があり、副会長の役割に期待したいとの意見があった。

- 会員現況について説明があった。会員数が減少しており、特に、企業会員の減少による影響が大きいことが報告された。なお、他学会の状況との比較について質問があり、辻理事より、理事会では具体的な検討がないものの、日本鉄鋼協会の例を挙げられ、学生の加入含め会員維持に努めており、今度、他学会の取組みが参考になるとの意見があった。

(2) 「ぶんせき」誌報告

編集委員の床波委員の代理として、前任の田中委員より、資料 No.4 に基づいた説明があった。3月12日に新旧交代の会議を開催し、次回7月に開催することが報告された。現時点で決まっている近畿支部担当分の執筆者について説明があり、未決定分については、今後の協力依頼とともに、執筆希望の際には、床波委員まで連絡する様に依頼があった。また茶山支部長から、本部理事会における「ぶんせき」誌のウェブ化の検討について質問があり、広告収入を考慮し紙面を維持することと比較検討している状況について報告があった。

(3) 「Analytical Sciences」誌報告

編集委員の岡本氏より、資料 No.5 に基づいた説明があった。第6回および第1回会議の議事などの報告があった。科研費について継続が決定したことの報告があり、さらにIFの向上に向けた取り組みとして、High Lightの執筆や、特集号の提案の受付、国際学会におけるAnalytical Sciences専用のブース設置の受付、ノベルティ頒布やアンケートの実施、Facebookの開設等の受付件数とアクセプト数の推移、Analytical Sciencesの知名度向上に向けた取組みについて説明があった。投稿数や内訳について質問があり、やや減少しているが概ね維持しているとの回答があった。

(4) 「分析化学」編集委員会報告

編集委員の諏訪氏より、資料 No.6 に基づいた説明があった。担当事務局員の減少によるメール見落とし対策として、ウェブ管理を検討していることの報告があった。ウェブ管理費用について質問があり、今後削減の可能性について議論があった。また、論文作成に関するインストラクターの取組みと、産業技術論文賞について説明があった。審査システムの変更（査読者と委員の間に事務局を介さない）について説明があった。なお、2019年度の年間特集は「粒」であるとの報告があった。

2. 2018年度 支部関係報告

(1)2018年度近畿支部 事業報告

末吉庶務幹事より、資料 No.7 に基づき、2018年度の支部事業について報告された。例年との違いとして、11月に近畿支部創設65周年記念事業が行われたこと、提案公募型セミナーが合計4回開催されたことが報告され、異議なく承認された。

(2)2018年度近畿支部 会計決算報告

牧会計幹事より、資料 No.8 に基づき、2018年度の支部会計が報告された。近畿支部創設65周年記念事業ならびに平成夏季セミナーについて中部支部との合同開催により会議費が増額となったことが報告され、異議なく承認された。また、近畿分析技術研究懇話会への入会について呼びかけがあった。

3. 2019年度 支部関係 事業計画・予算立案の件

(1)2019年度近畿支部 事業計画

① 常任幹事会・幹事会スケジュール

末吉庶務幹事より、資料 No.9 に基づき、2019年度の常任・幹事会のスケジュールについて説明があった。

② ぶんせき講習会

久本実行委員長より、資料 No.10 に基づき、基礎編（その1）、基礎編（その2）、実践編、発展編を開催する予定であり、実践編までについてぶんせき誌へ会告を依頼済みとの報告があった。なお、基礎編（その2）の講師1名について異動により変更となるため調整中であるとの説明があった。

③支部講演会 WG

責任者の塚越氏より、資料 No.11 に基づき、本年度は4月、7月、12月に支部講演会を企画していることが説明された。7月の第2回支部講演会では、これまで企業に依頼していたが若い講師へ依頼することとし、川井隆之氏（理化学研究所）と永井秀典氏（産業技術総合研究所）の講演が予定されている。

④提案公募セミナーWG

副責任者の奥田氏より、資料 No.12 に基づき、活動の趣旨及び過去の開催実績、2019年1月付の規約改正について報告があった。具体的には、過去に採択されたテーマについては対象としないため、過去の開催実績については支部のHPにて閲覧であることが報告された。

⑤ホームページ&分近ニュース WG

責任者の松本氏より、資料 No.13 に基づき説明があった。本年度は、ぶんきんニュース 46 号から計 3 回の発行を予定していること、近畿分析技術懇話会の法人会員はぶんきんニュースに無料でバナー広告を掲載できることの周知について説明があった。

⑥若手セミナーWG

責任者の森澤氏より、資料 No.14 に基づき説明があった。ぶんせき誌 9 月号へ会告が掲載予定である。なお、5 月の新元号への変更に伴い名称を「平成夏季セミナー」から「夏季セミナー」とすることが承認された。令和元年 8/1(木)-2(金)にアイ・アイランド（大阪府四條畷市）にて開催予定である。

(2)2019 年度近畿支部 予算案

牧会計幹事より、資料 No.15 に基づき、本年度予算案の説明がなされ、異議なく承認された。

4. 2019 年度 支部役員選考委員の選出

茶山支部長より、資料 No.16 に基づき、2019 年度の役員選考委員候補者の紹介があり、以下の委員を承認した。また、この 8 名を本部役員選考委員候補者として推薦することが承認された。

(敬称略)

理：塚原 聡（留任），千葉 光一（新任）

工：久本 秀明（留任），山本 雅博（留任）

農：北隅 優希（新任）

医薬：鈴木 茂生（留任）

業界：西埜 誠（留任），鈴江 崇彦（新任）

5. 近畿分析技術研究懇話会

会長の高山氏より、第 14 回近分懇研究奨励賞として、関西学院大学の岩井貴弘氏、花王株式会社の小池亮氏の 2 件が選ばれたことが報告された。

6. その他

末吉庶務幹事より、分析討論会におけるポスター審査について、協力依頼があった。

以 上